

高等学校における道德教育

主題名 他者に対する敬愛と助け合いの精神を持ち実践する
資料名 「涼風」(出典「明日への扉Ⅱ」千葉県教育委員会)
学校名 千葉県立清水高等学校 指導者 濱田 惇輝

1 学習指導案

高等学校 1 学年 工業系学科 3 組 道德学習指導案

平成 29 年 10 月 5 日 (木) 6 校時

(1) 主題名

他者に対する敬愛と助け合いの精神を持ち実践する

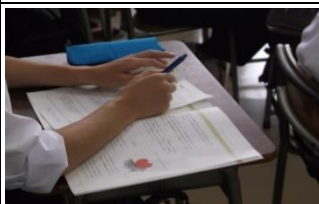
(2) ねらい


電車の中で出会った「思いやり」の連鎖を通して、他者に対する「思いやり」をもって生きていこうとする心を養うとともに、身近にあった心ある行動に気付かせ、それらを見逃さず、自分もそういう行動を起こせるようになりたいという心情を高める。

(3) 主題設定の理由

現代社会においては、心にゆとりがなく「自分さえよければ」という考えが、行動の基本になってしまいがちである。自分本位の行動は、知らず知らずのうちに他者にいやな思いをさせてしまう。学校での集団生活の中、街を歩く中、そしてこれから社会に出ていく中で、他者を思いやることができればお互いが気持ちよく過ごすことができることに気付かせたいと感じた。そして「思いやりの心」を持ち、周囲に気を配ることが自己にも他者にも良い影響を与えられることを感じさせたい。

(4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	[発問 1] ・「ほっこり (心温まるような)」した経験を教えてください。	・ありません。覚えていません。 ・動物の親子の愛情 ・席を譲る行為	・どのような内容でも発言しやすいような雰囲気をつくる。 ・教師の経験を紹介する。
展開 (35)	・「明日への扉Ⅱ」を配付 ・教材(涼風・P51)を教師が読む。 [発問 2] 女性、青年が席を譲った場面について ①「自分が座っていたら、譲りますか?理由も教えてください。」 ・どちらかに挙手をさせ、理由も答えさせる。	 ①譲る 譲らない (譲る理由) ・おばあさんが倒れそうだから。 (譲らない理由) ・自分も熱いし大変だから。	・全員が挙手をするように促す。 ・同じ理由の人を探し共感をさせる。

	<p>②「席を譲った2人の気持ちはどのようなものだったでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートに書き込ませ、発表させる。 <p>[発問3] 「席を譲った2人が照れくさそうにしていたのはなぜか考えてみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をワークシートに書いた後、4人組になって意見を交換する。 ・いくつかのグループに発表させる。 <p>[発問4] 「主人公の啓次はなぜ風鈴を買って帰ったのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートに書き込ませ、発表させる。 ・自分の意見をワークシートに書いた後、4人組になって意見を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のほうが先に乗っていたから。 <p>②大変そうだから座らせてあげよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お礼を言われるほどのことではないから。 ・多くの人が見ているので恥ずかしかったから。 <ul style="list-style-type: none"> ・涼風といえば風鈴だから ・家でも風を感じたいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をしつつ、発表を促す。 ・話し合いが活発に行われるよう促す。 ・参加していない生徒が出ないように注意する。 ・話し合いが活発に行われるよう促す。参加していない生徒が出ないように注意する。
<p>終末 (10)</p>	<p>[発問5] 「みなさんのまわりに、涼風が吹いた経験を教えてください。また、クラスの中に吹いた場面を教えてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験をワークシートに記入させ、発表させる。 <p>[発問6] 「今日の授業の感想を書いてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを回収する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じように電車やバスの中で席を譲る人を見た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの生徒を指名する。 ・教師の経験（主にクラスでの出来事）を紹介する。 ・感じたことを自由に書くよう促す。

(5) 他の教育活動との関連

本校の生徒は3年間同和教育を通して、様々な方々と触れ合い、共に生きる心を養う。その上で日常生活の中での「思いやり」を感じることは、同和教育で育んだ「共生」の心につながる第一歩となる。

2 事後検討会

(1) 授業記録 (回収したワークシートより抜粋含む)

T [発問1] 突然ですが、「ほっこりした」経験を教えてください。

S 「ほっこり」とはどういうことですか。

T そうですね。私が大学生の時に一人旅をしていたら、早朝の電車のボックス席に座った親子がいました。その子が、お母さんが作ったおにぎりを食べて「お母さんこれおいしい」と言っていたのを見た時、ほっこりしましたね。

S なるほど、小さい兄弟が手をつないで歩いているのを見た時ほっこりしました。

T きょうはその「ほっこり」から話が始まります。

(教材を配布、教師が読む。)

T [発問2①] 女性、青年が席を譲った場面についてですが、あなただったら席を譲りますか？理由も教えてください。

S (挙手) ・譲る 7割ほど ・譲らない 3割ほど

譲る理由

- ・使命感から。
- ・譲らずに電車内で倒れたらいやだから。
- ・譲った相手が楽になったらいいなという気持ちがあるから。
- ・自分のことよりも大変そうな人を心配する。
- ・老人に敬意があるから。
- ・今譲ると、後でいいことが返ってきそうだから。

譲らない理由

- ・自分も暑くて大変だから。
- ・一度、席を譲った時にそんなに年寄りに見えるかと怒られたことがあるから。

T [発問2②] 席を譲った2人の気持ちはどのようなものだったのでしょうか。

- S
- ・いいことをして気持ちがいい。
 - ・当然のことだから何も感じないのでは？
 - ・絶対恥ずかしい。

T [発問3] 席を譲った2人が照れくさそうにしていたのはなぜか考えてみましょう。

S ・大勢の人が見ていた中でお礼を言われたから。

T [発問4] 主人公の啓次はなぜ風鈴を買って帰ったのでしょうか。

- S
- ・音を聞けば涼しくなるのではないかという思いから。
 - ・風鈴により、扇風機の言い争いを軽くするため。
 - ・その風鈴を見て、今日のことを思い出すから。
 - ・自分の家にもそういう風が来るようにと思って。
 - ・朝の出来事の罪ほろぼし。
 - ・少しでも涼しい気持ちになればと思って。



T [発問5] みなさんのまわりに、涼風が吹いた経験を教えてください。

- S
- ・一本道の山道で、譲り合いをし、会釈をされ時。
 - ・中学生の時、教科書を忘れ、あまり話したことがない隣の席の生徒が見せてくれたこと。
 - ・重たい荷物をもっていただおばあさんを助けた人を見た時
 - ・お年寄りの袋からリンゴが落ちた時、スーツを着た若いサラリーマンがダイビングでリンゴをキャッチしていたのを見た時。スーツのひざの部分が破れていた。
 - ・駅のホームでベビーカーをもった人が階段を上がれなかったのを助けた人がいた。

(クラスで)

- ・掃除で机といすを運ぶ時、自分の机だけでなく、移動から戻ってこない生徒の分もみんなまで運んでいた時。
- ・クラスの生徒が弁当を忘れた日、周りの人が分け与えていた時。
- ・担任の先生のボケがクラスでうけた時。
- ・清掃が割り当てられていない場所を、教室掃除の人が時間が余った時にやっていたこと。
- ・先生が、誰のかわからない体操着を洗ってきてくれたこと。
- ・2学期だらけがちな中で、クラス全員が無遅刻でそろった時。
- ・いつもあまり掃除をきちんとやらない生徒が、すごくしっかりやってくれた時。

(2) 授業の感想 (生徒)

- ・他の人を助けたり席を譲ったりすると、自分も相手もいい気持ちになると思った。
- ・やはりこういう風に席を譲れるのはとてもいいなと思った。心があるってこういうことなんだと思った。
- ・意外にも、自分の身近な所にほっこり話やおもしろい話があるとわかった。
- ・人それぞれ思っていることは違っていて、自分が良いと思って席を譲ったとしても、相手は不快になることも少なからずあるので、判断が必要だと思った。
- ・自分も人に親切にしたいと思った。
- ・心地よい所にいたいししたいです。
- ・楽しかった。具体的に言うと、4人班で話し合った時に一人一人意見が少しずつ違っていて、新しい発見があった。とらえ方が違っておもしろかった。
- ・人と人との関係は難しい。知らない人だとなおさらだと思う。しかし、優しさや心遣いで良くなっていくと思った。そしてその出来事などを物として残して、周りに共感することもできると思った。行動は人の心を映すと思った。
- ・涼風を、自分はあまり体験したことが無いので、感じてみたいと思った。
- ・夏は我が家でも言い合いになることが多いので、涼風を感じるために風鈴を家につけておこうかと思った。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 指導上の工夫について

本事例は「思いやり」がテーマである。普段生活していく上では特別なことではなく、身近な事柄の中から心遣いを感じさせたいと思い授業を組み立てたので、生徒達の普段の行動を省みさせるとともに、思ったことを素直に書かせ、発表させる雰囲気は授業の目標達成に近づけることができるかを左右すると感じた。